

ひがし

No. 250

56 9/20

広報

しらかわ

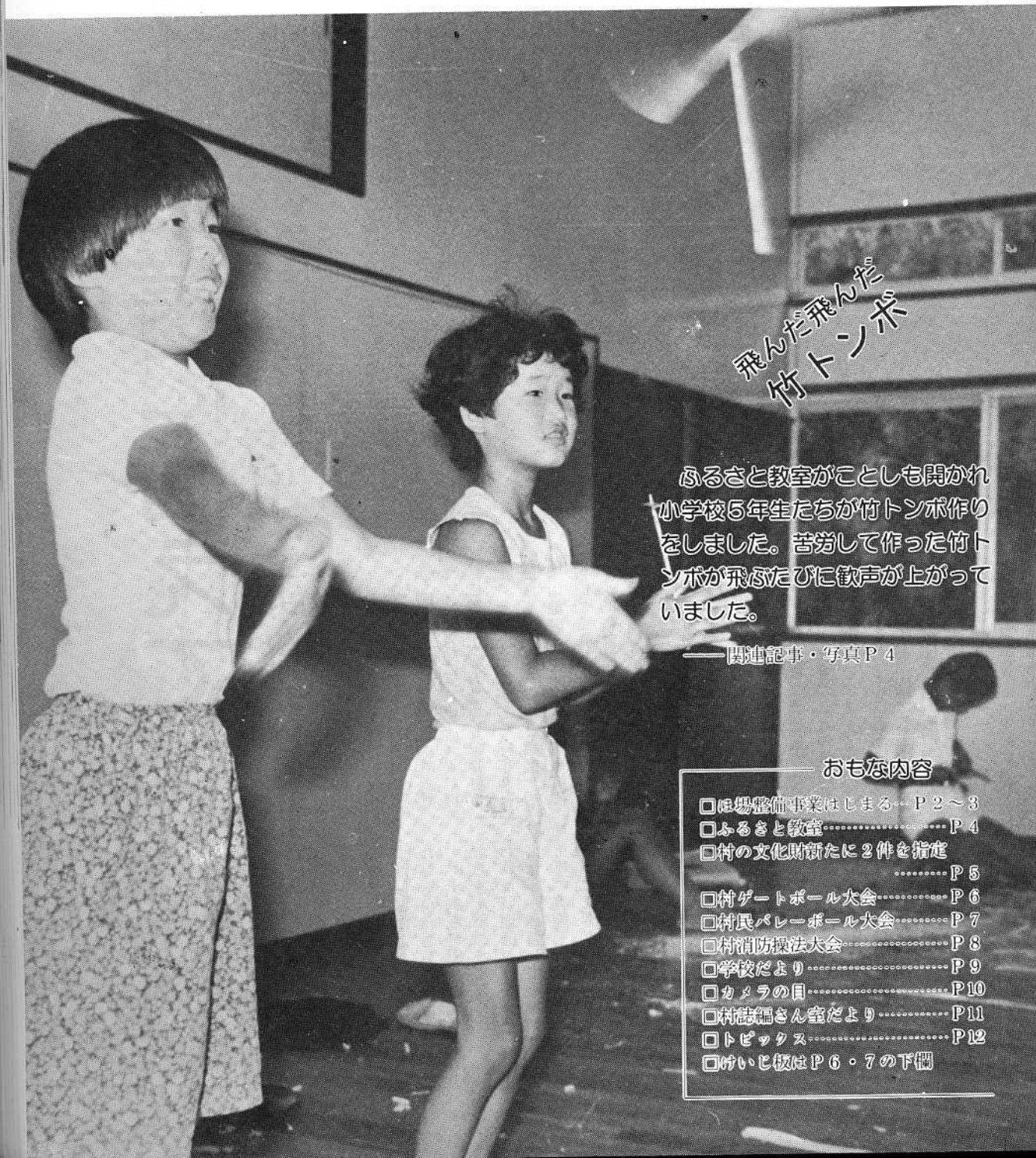
人口の動き

—8月末住民登録人口から

世帯数	940	世帯
人口	3,729	人
転入	3	人
転出	2	人
出生	0	人
死亡	1	人

先月と比較して増減なし
昨年の同月と比較して38人減

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中部印刷



飛んだ飛んだ
竹トンボ

ふるさと教室がことしも開かれ
小学校5年生たちが竹トンボ作り
をしました。苦勞して作った竹ト
ンボが飛ぶたびに歓声が上って
いました。

—関連記事・写真P4

おもな内容

- 農場整備事業はじまる P 2 ~ 3
- ふるさと教室 P 4
- 村の文化財新たに2件を指定 P 5
- 村ゲートボール大会 P 6
- 村民バレーボール大会 P 7
- 村消防操法大会 P 8
- 学校だより P 9
- カメラの目 P 10
- 村誌編さん室だより P 11
- トピックス P 12
- 付いじ飯は P 6・7の下欄

日向地区
4.4 ha

あすの農業に備えて ほ場整備事業はじまる

二年余りの準備期間を経て、ほ場整備事業がいよいよスタートしました。私たちの祖先が築き、現在へと受け継がれてきた農地を一変し、将来の農業に備えるというこの大きな事業は、行政の力で押し進めるのではなく、あくまでも農家の、そして地域住民のまとまりが基本です。あすの農業を担う後継者のためにも、どうしても実現したい事業といえます。本号では、本村のトップを切ってスタートした日向平地区にスポットをあててみました。

実態を自分の 目で確かめて

広報第二四五号でも概要をお知らせしましたが、今回事業に着手したのは日向平と隣接する中山地区の四・四診。同地区は村内でも比較的地形がよく、モデル的に実施するには最適と注目を集めていたもので、当初の予定より二か月ほど遅れましたが、九月一日に村の係員による標高チェックなどを終え、本格的な工事にとりかかりました。

現在、ブルドーザーやバックホーなどの重機で表土集めと、旧石積みのとりこわし作業などから行われています。

今後切り盛りして基盤を造成する整地工と、盛土して道路を作る工事が同時に、その後用水路工、排水路工と進行することになっていきます。

ほ場整備事業は、もちろん本村で初の事業です。そのため工

事がどのように進められるのか、また、どのようなになるのかなどわからないこともあります。ですから、地元のみなさんは

もちろんのこと、今回事業が行われない地区のみなさんも、将来きつと必要となる事業です。工事の実態を自分の目で確かめていただきたいものです。

農家の負担は あくまでも公平に

日向平地区ほ場整備事業は、第三期山村振興対策事業という制度によって行われ、今後日向以外の残りの地区は、県営畑地帯総合土地改良事業によって行われることになっています。

この二つの制度の最大の相違点は、補助率が違うということです。単純に計算すれば、補助率が低ければそれだけ村や農家の負担が大きくなるということです。が、当初この事業を策定する段階でお知らせしてありま





いよいよ始まったほ場整備事業。重機で表土が集められ、しだいに新しい農地へと生まれかわる
—日向平第二工区で

すように、農家の負担はあくまでも公平に——という考え方で進められることになっています。

“基盤整備は足場固め”

農家の経済ウエイトを米づくりにゆだねてきたこれまでの農業形態が、国の減反施策などにより大きな転換期を迎えたことは事実です。

こうした背景の中で、ほ場整備事業を主体とする新しい村づくりがクローズアップされてきたことはいうまでもないことです。が、ほ場整備はあくまでも水田の区画を大きくするだけの事業ではなく、将来に備える『足場固め』的な役割も持っているのです。

短期間でどうこうという考えから、さらに先、オーバーにいえば子孫の代を見越した考え方が今みんなに求められているといえます。

可能性どこまで引き出せるか

日向平地区のみなさんは、事業実施までの話し合いの結果、こうした先を見越して勇氣ある決断をされたことでしよう。

本村全体の基盤整備が完了す

るまでには、まだずいぶん話し合いによって解決して行かなければならない問題があるようですが、地域のみなさんの一致団結した盛り上げで、一日も早く実を結ぶことが期待されます。

ともかく、同地区は来春一月下旬の事業完了後、初の水稲期を迎えるわけですが、その成果と、新しく生まれ変わった基盤の可能性をどこまで引き出すことができるのか——注目されるところです。

日向平地区は、八月二十五日に着工。二十八日に起工式を行い、工期の来春一月二十日の完成までに整地工四・四鈴、道路工八百三十五・五鈴、排水路工八百六十三・五鈴、水路路工千七百七十四鈴を整備し、現況八十四筆の田や畑が約五十筆になる予定です。

同地区には、まだ『換地』という問題が残されていますが、前向きな姿勢での解決が期待されます。

ほ場整備事業に対するご意見、ご要望などありましたら係（総務課企画財政係）まで封書でお寄せください。工事の進行とあわせて紹介したいと思えます。

輝く100のひとみ

ことしもふるさと教室を開校



講師の指導を受けながら竹トンボづくりをすることもたち
—研修館で

ふるさと教室は、次代を担うこともたちに、学習と行動を通して村の歴史の流れを踏まえ、ふるさと東白川を愛する心を養ってもらおうと、昭和五十四年から、夏休み、冬休みを利用して行っているものです。ことしの対象者は東白川小学校の五年生五十人です。

村の歴史や民話
など熱心に学習

開校式と第一回のふるさと教

室が七月二十七日、村民センターで開かれ、講師としてお招きした坂祝小学校長・後藤時男先生の、「村にはいつから人が住ん

でいたのだろうか……」など、東白川村の大まかな歴史について学習しました。

本村で石器や矢じりが出土したところが七か所もあると聞いて、こどもたちはびっくりしていました。

第二回は八月五日、村誌編さん常任委員の安江政広さんを講師に、村に伝わる伝説、民話などの学習をしました。

四つ割南無阿弥陀仏の由来や五介の滝、手掛岩、大蛇と半九郎などの話を熱心に聞き入っていました。

中には、伝説と実際とがうまくのみこめない現代っ子の特長か「手掛岩に手をかけた人なんているわけがない」と反発することももあり、講師の安江さんもしばしば答えに困られるという場面もありました。

このあと、白川高校ジュニアリーダークラブの女子三人によるレクリエーションの指導がありました。

昔の遊び道 具に大喜び

第三回目、八月十九日はこどもたちがいちばん期待していた昔の遊び道具づくりを研修館で行いました。

講師には村老人クラブで活躍中の安江和吉さん（西洞）、田

口稔さん（平）、安江徳市さん（中通）をお願いし、マメブシ（キブシ）鉄砲と竹トンボの作り方を習いました。

用意されたマメブシと竹を使ったマメブシ鉄砲づくりでは、ナイフやのこぎりの使い方が思ったより上手にできる子が多く、けがをした子は四人だけ。早い子は十五分くらいで完成させ、パーンと紙玉が飛び出すと大喜びでした。

竹トンボはバランスがむづかしく、また作り方も容易でないため、ほとんどの子が講師の手をかりて作り上げ、研修館前の広場と総合運動場で飛ばし比べをしていました。

第四回は「村内めぐり」、弁当を持って村の文化財や草花の学習をし、第五回は冬休みに村の年中行事について学習することになっていきます。

心のヒダに ふるさとを

ふるさと教室を通して学んだ村の歴史や伝説、伝承技術、野山に育つ草木や花など、もつと確かに自分の足でしっかりとつかみ、ふるさとの香り、味を心のヒダに刻み込んでほしい、そしていつまでもふるさと東白川を愛する心を持ち続けてほしい——と、関係者らは願っています。

村文化財 新たに二件を指定

「柏本の切り貫し」と「黒淵の石造物群」

東白川村教育委員会では、このほど「柏本の切り貫し」「黒淵の石造物群」の二件を、村の文化財として指定しました。これで今までに指定している文化財（遺跡三件、建造物一件、古文書三件、無形民俗文化財一件、天然記念物四件）と合わせて十四件となりました。後世へ伝えるため、みんなで行きたいものです。

人たちが切り開いたのが柏本の切り貫しです。切り貫いた岩に「当村中」および「元文五庚申年九月」と彫り付けられていることから、一

七四〇年、当時の柏本村民の手によって貫通したと推定されます。しかし、この工事に何年の歳月がかかったのか、どんな工法

によって行われたのかは不明です。

指定の理由

この工事は、当時としては想像もできない、たいへんな難工事であったことは間違いない、柏本村民の熱意と苦心は計り知れないものがあります。

当時の苦闘がしのばれる切り貫きの岩が現在も残っており、史跡としての価値が認められる。

有形民俗文化財

黒淵の石造物群

由来・伝説

黒淵橋から川下百計ほどのところに松の二、三本とともに燈明塔、月待碑二十三夜塔、南無阿弥陀仏碑があります。燈明塔（石どうろう）は、文政五年（一八二二）に伊勢神宮遙拝所として建立、村内安全祈願や雨ごい、日よりごいをしてきたものです。

月待碑二十三夜塔は、天保九年（一八三八）に建立、病人平癒祈願をしてきたと伝えられています。南無阿弥陀仏碑は、少し離れた路傍の野にありましたが、道



黒淵の石造物群

路の改修によって、岩の上に移されたもので、元文四年（一七三九）に安全祈願のため建立されています。

指定の理由

燈明塔建立の十六年後に月待碑二十三夜塔が同じ場所に建立され、村人の心のよりどころとして、また信仰、祭りごとの中心として親しまれてきたこの地は、当時をうかがい知ることのできる重要なものと考えられます。

この石造物群に名号碑を加えて有形民俗文化財として後世に残したい。

史跡

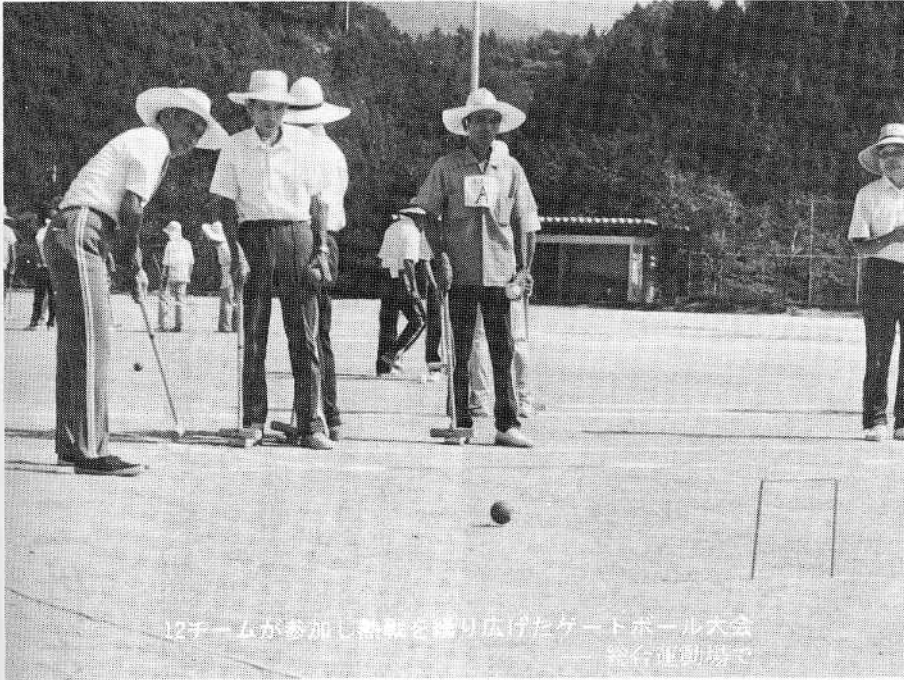
柏本の切り貫し

由来・伝説

元文年間 徳川吉宗の時代、この地は岩が河川にまでせり出ており、増水時には通行に不便をきたしていたと伝えられています。その岩を当時の村の



当時の苦闘がしのばれる柏本の切り貫し。現在はロックフェンスが張りめぐらされています（写真は昭和初期のもの）



12チームが参加し熱戦を繰り広げたゲートボール大会
総合運動場で

ゲートボール大会



めだつた技術の向上

寿会Aが二連勝

村老人クラブ連合会主催の第二回ゲートボール大会が、八月二十日、総合運動場で行われました。

ゲートボールが本村で行われるようになったのは二年ほど前のこと。その後、お年寄りの間に急速に広まり、村内七単位の老人クラブでは余暇を利用して練習を重ねてこられました。

ことしの大会に参加したのは昨年の第一回大会より三チーム

多い十二チーム。選手、役員ら百五十人余りが総合運動場に集まり、優勝めざして熱戦を繰り上げました。

本村での歴史は浅いとはいえず連日の練習のかいあって、技術面の向上もめまぐるしく、鮮やかなスティックさばきで、第一ゲートを一回で通過させる人は七割ちかくもあり、ゲートボール熱の高さがめだつた大会でした。

午前九時にスタートした予選リーグ戦は、三つのコートをつらぎに使って行われ四チームが勝ち残り、午後からトーナメント方式で決勝戦が行われた結果、昨年に続いて寿会（五加）Aチームが優勝。二位には同Cチームが、三位は明青会（平）Aチームでした。

たばこは村内

で買いましたよう



けいじはん

■戸籍の窓■八月〓敬称略



いつでも
おしあわせに

安江 広久（平）
和田 由美（知立市）



おくやみ
申しあげます

古田ひさ乃 92歳（大口）

■善意の寄付〓敬称略

〔社会福祉施設費へ〕

現金三万八千三百五十五円

―東白川村商工会婦人部

現金三万円―古田文二郎

現金一万七千円―東白川村

明るい社会づくり推進協議会

〔公民館図書室へ〕

図書五冊―桂川佑一（栃山）、

同五冊―栗本房子（平）、同

三十三冊―安江恒一（名古屋

市）、同一冊―菊田りよ（曲

坂）

■生活資金・住宅資金が

労働金庫で借りられます

労働組合のない企業や商店で働いておられる方に、岐阜県労働金庫からの借入れが



和やかムードの中で行われた村民バレーボール大会のもよう — 東白川小体育館で

終始和やかに

第5回村民バレーボール大会

第五回村民バレーボール大会が八月十六日、東白川小学校体育館で開かれ、村内の愛好者と盆休みで帰省した人たちが、チームを組んで参加しました。ことしの大会には、かつては村代表として郡や県の大会に出場したメンバーがチーム編成して地区別に参加するなど、ふだん着のまま参加できるという認識が広まったようです。試合は男女別で行われ、経験者と初心者との差こそあれ、終始和やかなふんい気の中で進められました。とくに、特別に企画された女子チーム対大明神の地区編成チームの一戦は、この大会の呼びものとなったようです。

バレーボールは、ソフトボールなどほかのスポーツに押され、その熱が低いだけに、今後の活発な活動が期待されます。この大会には、卒業年度別に編成したチームのほか、村内に限っては地区別編成チームも参加できます。次回にはぜひ勇気をふるってご参加を。

大口・西洞・加舎尾チームに栄冠

地区別対抗野球大会

健康と体力の保持増進を図るとともに、村民相互の親ほくを深めることを目的とした、地区別対抗野球大会が八月六日にスタート。九月一日に全試合が終了しました。

大会には村軟式野球連盟の呼びかけで地区別に編成した十四チームが参加。それぞれ優勝をめざしてがんばりました。

八月六日、平西対大口、西洞、加舎尾の試合を皮切りに、総合運動場を会場とするトーナメント戦が繰り広げられ、九月一日の夜八時から順当に勝ち進んだ大口・西洞・加舎尾チームと平東チームの間で優勝が争われ、三対二のスコアで大口・西洞・加舎尾チームが勝ちました。村軟式野球連盟主催としては

ことしの大会の結果は次のとおりです。

【男子の部】
優勝 村内者一般チーム
準優勝 五十四年度卒業生
三位 村外一般・大明神
【女子の部】
優勝 五十四年度卒業生
準優勝 中学一年生チーム

地区別対抗という初の試みでしたが、出場チーム数も多く、全試合を通じてなごやかなムードで行われ、大会の目的を達成できたようです。

スポーツ行事は、とかく勝負にこだわりますが、勝ち負けを度外視して、体力の保持増進、親ほくを目的としたこのような行事を、長く続けてほしいものです。

大会の成績は次のとおり。
優勝 大口・西洞・加舎尾
準優勝 平東
三位 平中、神付・中谷・中洞
通上

個人賞（敬称略）
最優秀選手賞：安江司（西洞）
敢闘賞：安江政辰
ホームラン賞：村雲勝也（神付）

けいこぼん

利用できるようにと、村では出捐金（基本財産）を岐阜県労働者信用基金協会に出しています。

借入者の保証はこの協会がしてくれれます。借り入れてできるのは生活資金と住宅資金の二つです。

県内に居住し、または県内に勤務地を持ち、一事業所に一年以上勤務している人が借り入れ資格の条件です。

このほか、借り入れ手続きなど詳しいことは、岐阜県労働者信用基金協会（☎0582-4741）へおたずねください。

■財形住宅融資のおしらせ

住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている勤労者（三年以上上り残高が五十万円以上ある人）を対象に、財形住宅融資の受け付けを行っています。申込受付期間は昭和五十七年二月二十七日まで。融資額は貯蓄残高の三倍（千五百万円が限度）までです。

そのほか、利率・返済期間返済方法など詳しくお知らせになりたい人は次へおたずねください。

住宅金融公庫名古屋支所

☎052-935-7621

訓練の成果を披露

第17回村消防操法大会

第十七回東白川村消防操法大会は、八月三十日に総合運動場で開かれ、自動車ポンプ二台と小型動力ポンプ十四台が一堂に会し、それぞれの部で日ごろの訓練の成果を競い合いました。

この大会は、消防団員の操法技術の向上と士気の高揚をはか

り、万一の火災時などの適切な活動を確保。あわせて、翌年度の郡消防操法大会（来年度は小型動力ポンプの部）への出場ポ

ンプ選考を兼ねています。

ことしは午前中に全日程を終了したい——と、集合時間を早めたほか、操法から操法の準備

時間を十三分として、全団員一致団結しての成果あって、全日程を予定の十二時三十分を終了しました。

いずれのポンプも優劣つけがたい操法を披露しましたが、総務課長を審査長とする六人の審査員による厳しい審査の結果、わずかな差で第一分団第六ポンプが優勝しました。

当日の結果は次のとおり。

『小型動力ポンプの部』

優勝 第一分団第六ポンプ

二位 第三分団第九ポンプ

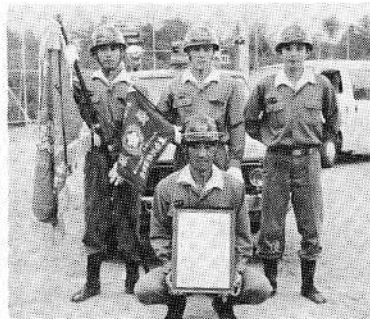
三位 第三分団第十三ポンプ

四位 第三分団第十一ポンプ

五位 第一分団第二ポンプ

『自動車ポンプの部』

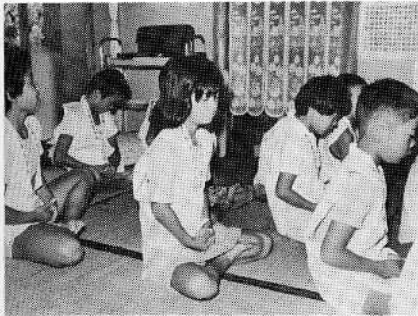
優勝 第三分団自動車ポンプ



小型動力ポンプの部で優勝した第一分団第六ポンプの選手

「よい子に育ちます」

チビっ子ら座禅で心の鍛練



朝六時三十分からのラジオ体操が終わると同時に、こどもたちが木曾御岳教会御岳白川教会（主管者・安江武子さん）に集

合。ここでは夏休みの間、保育園児から小学四年生までの近所のこどもたち十二人が座禅などを通じて心の鍛練をしました。写真。

青少年非行が大きな社会問題となっている折、小さいうちから何か一つのことに取り組むことを身につけさせ、非行が防げたら——という安江さんの熱意

が三年ごしに実ったものです。

夏休み最後の日には、こどもたち全員に賞が手渡され、小さいながらも「よい子に育ちます」と誓い合っているようでした。

安江さんは「ほかの地域の人たちからも要望があり、たいへんうれしいことだと思いましたが、これからの機会をみて行ってほしい」と話しておられました。

みんな

共同募金

赤い羽根

10月1日から

しあわせに

持ち越し灯油

前シーズンに使い切らず、夏を越した灯油——。お宅にもあるのではないでしょうか。持ち越し灯油は、保存状態によってはひどく変質することがあります。とくに白色半透明のポリ容器に入れて直射日光のあたる場所に置き放していた場合、変質の度合いが強いことが実験で明らかになっています。

これは、直射日光に長時間さらすことによって、灯油が酸化分解を繰り返し、酸化物質や重合物質ができるためです。ストーブに使うと芯の部分にネバネバしたタールが付着し、火力が弱まったり悪臭、着火しないなどのトラブルを起すことがあります。

灯油の変質の度合いは酸価という単位で表され、酸価が〇・〇二までなら持ち越し灯油でも問題ありません。

酸化度を計るには、少量の灯油に浸すだけで、色の変化で変質度合いを読みとる簡易探知器を使うと便利です。探知器は、暖房器具メーカーの窓口や販売店で売っており、一本五十円から百円くらいです。

季節の話題

季節の話題

●学校だより●

東中3年生ら下刈りで汗

卒業記念品の資金を確保

去る八月十六日、東白川中学校三年生と父兄ら約百人が久須見地内の村有林で下刈り作業を行いました。

これは、卒業記念品の資金確保と、親子そろって汗して働きの目的としたものです。

当日は、かまや下刈りがまを持った生徒たちや下刈機を持った父兄が、午前七時三十分



下刈り作業で汗を流す東白川中三年生ら
—久須見地内の村有林で

地に当着。日程や作業上の注意などを聞いたあと、いっせいに下刈りにとりかかりました。事故のないようにと、機械と長い柄のかま、普通のかまの三班に分かれて作業しましたが、女生徒はかまを使うのが始めて

体育館に響く歌声

名女大合唱団
ことしも小学校へ

名古屋女子大学合唱団の一行五十七人が、八月二十六日に東白川小学校を訪れ美声を披露しました。

一行は越原温泉学舎での夏季研修に来村、研修中の行事として以前から行っているもので、東白川小では昨年に続いて二回目。

ことしは体育館を舞台に、ステージでわらべうたを披露したあと、こどもたちといっしょにフロアーいっぱい輪をつくり、振り付けのドレミのうたなど全

という子が多く、最初はぎこちない下刈り風景があらこちでみられました。それでも五、十人間隔に一人の割合で入った父兄の指導を受けながらいっしょけんめい作業しました。午前八時から始められたこの下刈りは途中十五分の休けいをはさんで十一時までの約三時間行われ、最終的には予定の三割を一診上回る四割を下刈りしました。生徒たちは暑い中汗まみれになって「暑い」「えらい」を連発しながらも、働く喜びを感じとったことでしょう。

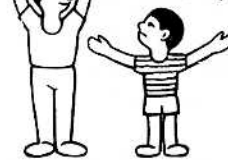


十曲を合唱し写真。体育館いっぱいには歌声が響きわたっていました。

人間が生きるために、どうしてもとらなければならないもの——それは、第一に空気中の酸素、次に水、その次にタンパク質と食塩(ナトリウム)です。

酸素はエネルギーを燃やすのに使われ、タンパク質は養素の中心として体づくりをします。水とナトリウムの必要なわけは①体は細胞の集まりでできており、その六五％は水分。タンパク質やカリウムがこれに溶けています。細胞をとりにまいているのは、体液(血液、リンパ液、細胞間液)で、その主成分はナトリウムです。つまり、細胞の内外は水、細胞内はカリウム、外にはナトリウムがあり、その割合がつり合っ

暮らしと健康



塩と健康 ⑧4

われます。

②汗の中には塩分が〇・二〇・五％含まれているため、ひどく汗をかいたときには、うすい食塩水が必要で

③胃液の中には濃い塩酸が含まれていて、塩酸の成分の塩素は食塩(塩化ナトリウム)から得られます。このため、ひどく食塩を制限すると食欲がなくなり、体もだるく、気分も沈んで仕事に張りがなくなり

④とはいえ、食塩をとらないと生きて行けません。でも、とりすぎると高血圧が起ります。

合っはじめて細胞は正常に働くことができます。が、下痢や吐いたりして体液を失うと、ナトリウムを失い水分とナトリウムの補給をしなければなりません。生理的食塩水やリンゲル液はこのために使

食塩がたくさん血管の中にとりこまれると、食塩は水を呼びよせ、食塩は水と血液量が増し、今までも多い血液が循環することになります。このため、心臓は強い力を出さなければなりません。つまり血圧が高くなるわけです。また、細い動脈に食塩がたまると、そのかべにむくみが起り、これが血流に対する抵抗を増すことになり

チビっ子力士が熱戦

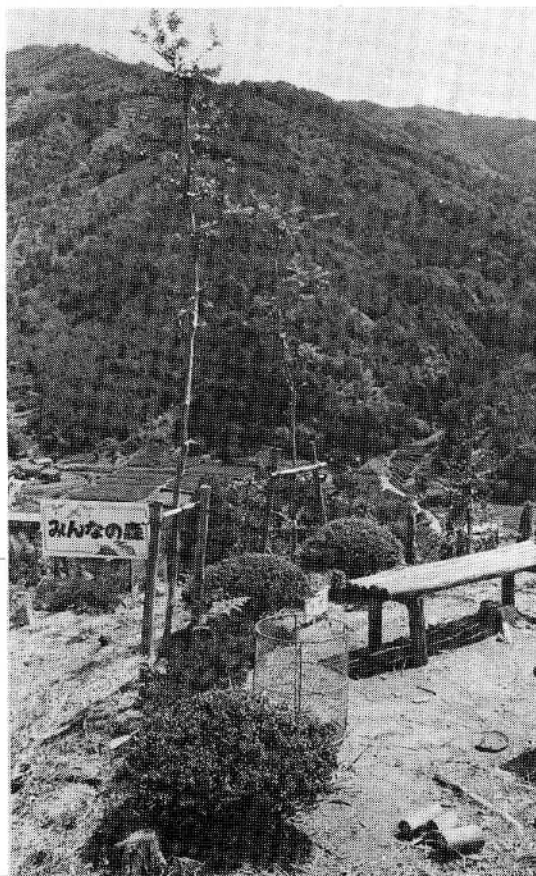
第6回商工まつりで

第6回商工まつりが8月14、15の両日、役場前広場一帯を会場として行われました。村の年中行事として、すっかり定着した感じのあるこの商工まつり、例年のように仮設の店舗が建ちならび、特設ステージも設けられ、

地元の音楽グループやプロ歌手による歌謡ショーなども盛り込み、両日大勢の人出でにぎわいました。また、ことしの呼びもの一つは小学生による「すもう大会」。チビっ子力士たちが「大相撲」顔負けの熱戦を展開しました＝写真。



カメラの目



ベンチやゴミ箱配置

「みんなの森」が完成

愛林思想の高揚と緑化の推進を——と、東白川小学校の敷地内の一角で進められていた「みんなの森」写真が、このほど完成しました。

この施設、広さは約千平方メートル。「みんなの森」の看板や間伐材利用のベンチ、ごみ箱などを配置したほか「ヤマモミジ」「サザンカ」などの緑化木十五種が植樹されています。

みんなのいこいの場として活用したいものです。

暮らしのカレンダー

※小学校運動会

- ・とき 10月4日
- ・ところ 東白川小学校
- 一般のみなさんも多数おでかけください

※三種混合予防接種（第1回）

- ・とき 10月7日 1:30
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 52.10.8～54.9.30生まれの未接種者と追加

※第1回村民テニス大会

- ・とき 10月11日 1:00
- ・ところ 総合運動場
- 中学生の部、一般男子・女子の部（どちらもダブルスのみ）を行います。初心者もどしどしご参加ください。

※妊婦学級

- ・とき 10月14日
9:00～11:30
- ・ところ 母子健康センター
- ・対象者 妊娠後期の人

※小児マヒ生ワクチン投与

- ・とき 10月14日 1:30
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 52.10.15～56.6.30生まれの者

※村誌解説講座（第5回）

- ・とき 10月14日 1:00
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生
- 江戸時代の東白川村の暮らし（農業、林業、交通、商業、庶民生活）を予定しています

※第1回バドミントン大会

- ・とき 10月18日 1:00
- ・ところ 東白川小体育館
- 一般男子・女子の部（ダブルスのみ）を行います。ペアを組んでご参加ください

※犬の登録と狂犬病予防注射

- ・とき 10月19日、20日
- ・ところ 村内15会場
- ・費用 登録…1頭1,500円
注射…1回1,500円

※第5回婦人ソフトボール大会

- ・とき 10月25日 8:30
- ・ところ 総合運動場
- 今、最も親しまれているソフトボール。年々レベルが向上し熱戦が期待されます



伝説と民話

—村誌編さん室だより

社岩と神明井戸

今からおよそ三百年前、寛文五年の八月、白川筋一帯が大雨のため洪水し、神土長瀬付近の田畑が押し流されるなど大きな被害がでた。

翌日近くの家の主人が白川の川筋を見回っていると、長瀬渚の一角にある岩の上に高さ一尺幅五、六寸であたかも人の座像に似た石のあるのを発見、早速わが家へ持ち帰って井戸神として祭った。

ところがその後数年にわたってこの家に災禍が続いた。

ある夜主人のまくら元に井戸神が現われ「われこそは天照大神の化身なり、よろしく地を得て祭るべし」とのお告げがあった。

た。主人はかしこまって早速神のお告げどおり神明山の祠（今の神明神社）に合祭した。

その後、この石像の打ち上げられていた岩を「社岩（やしろいわ）」「通称弥次郎岩」と呼び、大正年間ころまでは神事の際には、この社岩で禊（みそぎ）が行われ、また「神明の井戸水」も同じく元日・例祭などの神饌に用いられたという。

（おわり）

四つ割碑と伝蔵（その一）

明治四年のことだった。廃藩置県で苗木県となった旧苗木藩では、平田学派に属する青山直道が大参事になると徹底した廃仏毀釈を行った。

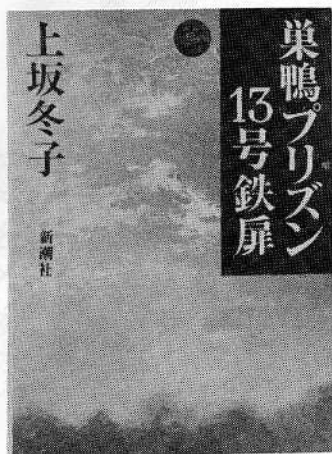
寺格の高かった神土の常楽寺

にしてもその例外ではなかった。本堂の仏像仏具は庭に持ち出されて焼き払われ、檀家の仏壇や仏具もすべて焼きつくすよう申し渡された。

村の辻堂や街道筋に祭られた石地藏なども、村々の内、辻堂をこわし、仏名・経典等彫付候石碑類、掘り埋め申すべく候」という触れ書きによって処分すよう申し付けられた。

しかし、天保六年に常楽寺の山門に建てた「南無阿弥陀仏」の碑だけはあまりに大きすぎてその始末に困った。「こなごなに砕いてしまえ」と役人たちはどなってはみたものの、六字の名号のみごとな筆勢に気押されて自らの手を下すことはさすがにはばかった。

新刊です — 中央公民館図書室



巣鴨プリズン 13号鉄扉

上坂冬子

戦後36回目の終戦記念日を迎えようとする8月10日、ある新聞に「巣鴨プリズン（旧東京拘置所）刑場の入口ドア（13号鉄扉）2枚囚人墓地の草むらで見つかる」の記事がありました。

さて、この本はあの痛ましい第二次世界大戦によって、連合軍に捕虜として捕えられた日本人A級戦犯7人、BC級戦犯52人の絞首刑がこの巣鴨プリズンで執行されていますが、処刑された人たちの今わの際に残した遺書を手がかりに、その家族や処刑をまねがれた人たちの話などをもとに作者がつづったノンフィクションです。

わだつみのかなたに散った戦死者と違って、BC級戦犯者の遺族の苦しみを知ることのできる本です。（啓）

▽今月の料理△



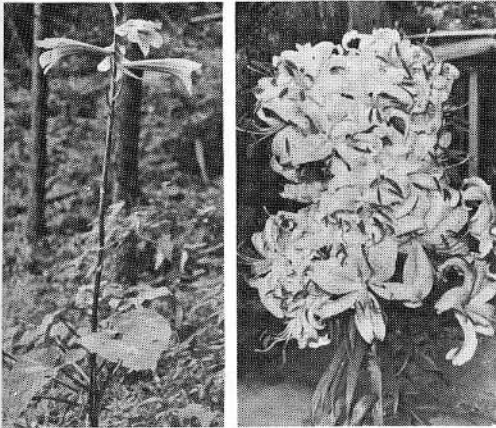
ナスのゴマみそあえ

作り方①ナス6個は直火で焼き、さめたら皮をむいてヘタをとり、食べやすく縦に細く切る②白ゴマ大さじ4はこぶばいり、すり鉢で油が出るくらいまでよくすり、みそ、しょう油、ゴマ油各小さじ1、砂糖大さじ2、だし汁大さじ2でゴマダレを作り①のナスをあえる。

ナスのびりびり煮

作り方①豚肉200gは一口大に切り、ナス500gも一口大に切って水にさらす②鍋に油を熱して豚肉をいため、ナスを加えてさらに炊めだし汁カップ1.5、みりん大さじ2、しょうゆ大さじ3、種をとった赤とうがらし2本を入れ、落しぶたをして汁けがなくなるまで煮る。

暑さに負けない体力を保つには、栄養のバランスを考えた食生活が第一、手近な材料で心のこもった料理を……。



花の数43のヤマユリ
とめずらしいウバユリ

1本の茎に43も花を咲かせたヤマユリがみつかりました。これは安江ちよさん（曲坂）が畑で栽培されたもので、茎は平たくて幅が4センチもあり、普通のものの約6倍。花の数も4倍ちかくあります＝写真右。

また、写真左は陰地地内でみつかったウバユリ。植物図鑑には「関東以西に分布」とありますが、本村ではちょっとめずらしいようです。田口英雄さん宅前の竹やぶの中に1本だけポツンと咲いていました。

ゆか
安江由佳ちゃん
(55.11.21生)

大明神 安江一成・房子さん 長女



すくすく育て

東白川村民の誓い

わたしたちは、東白川村民です。先人の遺業に感謝し、誇りをもって明るく住みよい村をつくりまします。

- 一、気持ちのよいあいさつをかわし、あたたかい心のふれあいを大切にします。
- 一、健康なからだをつくり、明るい家庭を築きます。
- 一、働くことに喜びをもち、豊かな村づくりに励みます。
- 一、美しい自然を愛し、うるおいのある村を育てます。
- 一、教養を高め、かおり高い文化の村づくりに努力します。



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

◎蟬しぐれ聴く悲平の松蔭に妻の眠れる墓去りがたし

たなごころ二つ合せて藪蚊打ちひとりの心何か足り居り

◎吹く風に秋の気配のみちみちて桑採る背の汗に冷たし

思ひ出の悲しき夏とうらはらに軍拡を言ふ祖国を危ぶむ

◎航跡は遠く薄れて島に消えややうねり始む伊勢の海行く

日照りよくこわばる稲葉さゆらぎつ出穂も近づく風わたりけり

節高く荒れたる手指見つめつつ啄木の歌思ひ苦笑す

◎ミンミンの競へる声に蝸が一つ啼き添ふ日蝕の昼を

孫の飼ふ観察の蚕は胴細く桑食みて居り色を塗られて

明け放ち部屋の掃除をして居れば風にただよふ稲の花の香

若き日の飢えをば偲び終戦日の夕餉の膳に黙して坐る

◎一しきり風が扇風機を廻しをり木草喜ぶ雷雨来りて

紫蘇の葉を刻みて入れし瓜もみを義姉に教はり妻は今宵も

◎散りしきて紫濃ゆき葛の花夏の終りの舗道ににほふ

盆も過ぎお精霊とんぼも見ぬままに早や草むらに蟋蟀の啼く

ふわふわと派手になる世の隙間風身に沁むなど言はば笑ふか

卓灯を襲ひて狂ふすずめ蛾を憎み打ち取り吾は汗ばむ

安江 香

田口 圭二

安江 幸

加藤 公一

村雲 傳三

今井 惣十

村雲 孝次

伊藤 重雄

安江 澄

小池 いちの

安江 守平

今井 統子

古田 光男

安江と志江

三戸 きり

山川 冽

田口 良三